

# 平成19年度研究ステーション研究成果報告書

1. 研究ステーション名： コミュニティ協働システム研究ステーション

代表者名： 福田 豊

## 2. 平成19年度の研究の特筆すべき成果

CSRを単なる高度なマーケティングないし広報戦略としてではなく、現実の社会的コンテキストの中に埋め込みながら、サステナブルな社会システム形成へのリカーシブな活動ならしめるためには、Civic Engagement による協働的育成的活動が必須なのであり、また、そのためには知のコモンズとしての大学による学習プロセスの提供が必要となることが明らかになった。CSRにおける産学協働システムの構築が、コミュニティ協働システムとして重要であることが結論づけられた。

## 3. 平成19年度の研究成果の公表実績（主催した研究会、研究成果の発信状況等）

平成19年度社会技術研究開発事業（独立行政法人 科学技術振興機構）研究開発プログラム「ユビキタス社会のガバナンス」、および日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会研究会、科学研究費補助金事業によるCSR公開研究会を共催にて開催した。詳細は下記の通りである。

### ●ユビキタス社会とCSR –CSRとCivic Engagement–（CSR公開研究会）

日時 平成19年5月28日（月） 14:00-16:30

会場 東京国際フォーラム G505 会議室

主催 電気通信大学（人間コミュニケーション学科福田豊研究室/JST事業）

共催 電気通信大学コミュニティ協働システム研究ステーション

日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会

費用 無料

プログラム

14:00-15:00 基調講演「CSRの現在」

古賀純一郎（共同通信社）\*

15:00-15:30 取り組み企業からの話題提供：テーマ「CSRの課題」

平山 茂（日本電信電話株式会社 CSR推進室）

15:30-16:30 ディスカッション

コーディネーター 福田 豊（電気通信大学）

### ●CSRにおける産学協働

日時 平成19年9月26日（水） 14:30-16:30

会場 東京国際フォーラム G607 会議室

- 主 催 電気通信大学（人間コミュニケーション学科福田豊研究室／科研費補助金事業）
- 共 催 電気通信大学コミュニティ協働システム研究ステーション  
日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会
- 費 用 無料
- プログラム
- 14:30-15:10 基調講演  
「CSR イノベーション：事業活動（本業）を通じた CSR による新たな価値創造」  
田幸大輔（社団法人経済同友会）
- 15:10-15:30 CSR における産学協働システムに関する基礎研究について  
参考 URL：<http://csr-research.cc.uec.ac.jp/index.html>  
福田 豊（国立大学法人電気通信大学）
- 15:30-16:30 ディスカッション  
コーディネーター 古賀純一郎（社団法人共同通信社）  
パネリスト 田幸大輔  
福田 豊

● CSR の新展開とコミュニティ・エンゲイジメント（CSR 公開研究会）

- 日 時 平成 20 年 1 月 28 日（月） 14:00-16:30
- 会 場 東京国際フォーラム G410 会議室
- 主 催 電気通信大学（人間コミュニケーション学科福田豊研究室／科研費補助金事業）
- 共 催 電気通信大学コミュニティ協働システム研究ステーション  
日本社会情報学会情報社会経済システム研究部会
- 参加費 無料
- プログラム
- 14:00-14:40 報告 1  
「CSR における日本企業の動向」  
菱山 隆二（企業行動研究センター）
- 14:40-15:20 報告 2  
「国際規格化の潮流—ISO/SR ウィーン総会報告から—」  
黒田かをり（CSO ネットワーク）  
ISO26000 社会的責任（SR）規格策定 日本 NGO エキスパート
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:30 ディスカッション  
コーディネーター 古賀純一郎（社団法人共同通信社）  
パネリスト 菱山 隆二  
黒田かをり  
福田 豊（国立大学法人電気通信大学）

#### 4. 外部資金の獲得状況

なし

5. 今後の研究発展（外部への発信、外部資金獲得計画を含む）

引き続き CSR とコミュニティとの協働システムについて研究を進め、知のコモンズへの展開を図る。

6. 代表的なピアレビュー論文発表、学会プレナリ、招待講演発表、特許出願、  
受賞等

なし